さわやかメール

2019年1月10日(木) vol. 437　http://www.sawayaka-mail.com
発行部数 11150部　発行所 ASA多摩センター・永山　〒206-0033 東京都多摩市落合1-20-10
フリーダイヤル0120-165-211／フリーFAX0800-800-3154

2019年最初の『さわやかメール』は、
バレンタインを先取り！
お父さんに贈りたい『日本酒ボンボン』や
『八幡屋磯五郎七味唐辛子』をはじめ、
開運『黒猫の貯金箱』や
中村加奈子デザインの
『ふくろうマグ』『バラのミニトレー』など
楽しいプレゼントがいっぱい！
『新北斎展』『奥村土牛展』『河鍋暁斎展』
新春 を彩る美術展チケットも登場！
今年最初の運だめし、
ご家族みなさまで楽しんでご応募ください♪
今月の締切は1月16日（水）です。

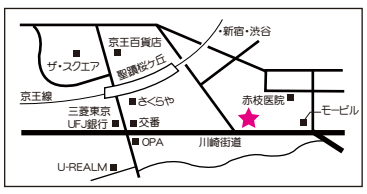
ナビぐるめ 169

ハンバーガーで年初め！『cafe GARDEN』

多摩市関戸2-37-3 さくらゲート1F
TEL 042-373-0670
営業時間　11:00～23:00(LO.22:30)
駐車場あり

ホームページ　http://www.cafe-garden.jp/
インスタグラム　https://www.instagram.com/cafegarden_burger/
フェイスブック　https://www.facebook.com/CafeGARDENseiseki/

お正月料理にも飽きて、少しジャンキーなお食事をお望みの方は、本格ハンバーガーが食べれる聖蹟桜ヶ丘の『cafe GARDEN』へ…。今年の3月でオープン10周年、駅チカでアクセスも抜群、サイクリングの途中に寄ってみるのもオススメです。看板メニューの『ハンバーガー』はボリュームたっぷりの定番12種類と、シェフのアイデアが詰まった『マンスリーバーガー』からチョイス。天然海洋酵母使用、小麦の香りと甘みが特徴のこだわりバンズとオージービーフ100%のパティーにチーズや野菜のトッピングが加わって、見た目はどれも“ボリューミー”ですが、バンズとお肉の美味しさをかみしめながら、女性でもペロリと食べれるのが不思議??? 甘味の強い皮付きポテト『インカのめざめ』も絶品です。😋～♪
カフェといってもフードメニューが充実！ 野菜たっぷりの『プレートランチ』や『ローストビーフ丼』『ポキ丼』などの『丼ランチ』もオススメ。平日は女性のお客様が多いのですが、土日祝限定、60分食べ放題の『ランチブッフェ』はファミリーや男性にも人気！ 4種類の日替わりバーガーから1種類or2種類をチョイス、カウンターに並ぶサラダ、カレー、デザートなどをブッフェ形式で楽しめます。14時～（土日祝は15時～）は『デザート』が登場!もっちり、しっとり系のパンケーキはインスタ映え必至！ いちご、ミックスベリー、バナナ全部のせ『スペシャルパンケーキ』（¥1250）がイチ押しですが、ドイツ生まれのパンケーキ『DUTCH BABY』や『季節のパフェ』もぜひおためしください。ディナータイムは昨年11月にグランドメニューを一新！『牛肉のカルパッチョ』（¥800）『10品目野菜とローストビーフのサラダ』（¥1080）『BBQチキンウィング』（¥480～）などお酒がすすむラインアップが魅力。ハンバーグやお肉料理はもちろんですが、ディナータイムでも『ハンバーガー』が食べれます。手や口にソースが付いたままで、“ボーっと生きてんじゃねーよ！”と言われても“そだね～”と気にせずガッツリかぶりつく…そんな“半端ないハンバーガーの食べ方”が王道の『cafe GARDEN』は、ブンデスリーガ『マインツ』の武藤選手をはじめ、スポーツ選手、有名人のサインも多数。新年会・女子会・各種パーティなどの演出にもできる限り対応いたしますので、お気軽にお問合せ下さい。



【SNS投稿キャンペーン!】
① cafe GARDENのお料理の写真を撮影!
② #CafeGARDENとつけてSNSに投稿しよう!
③ 投稿した画面をスタッフに見せると…
④ ミニデザートのアイスをプレゼント!!

【ランチメニュー】平日11:00～14:00

《ハンバーガー》全てのバーガーにポテトがつきます。
① 聖蹟バーガー…¥810　牛肉100%のパティにトマト・レタスオニオンスライス
② ファイヤーバーガー…¥830　レッドホットチリソースで味つけた癖になる味
③ テリヤキバーガー…¥850　グリルチキンをテリダレでからめました。
④ パインバーガー…¥910　グリルドパインがとってもジューシー。
⑤ アボガドバーガー…¥930　クリーミーなアボガドがたまらない一品。
⑥ チリビーンズバーガー…¥930
　ひき肉とレッドキドニービーンズをチリソースで煮込んだ、ピリ辛バーガー
⑦ チーズバーガー…¥930　チェダーチーズ2枚をのせた、人気のとろ～りバーガー
⑧ ベーコンエッグバーガー…¥1010　ベーコンとエッグは最高の定番コンビ
⑨ ベーコンチーズバーガー…¥1030　ベーコンの旨味ととろ～りチーズのハーモニー
⑩ チーズベーコンエッグバーガー…¥1130　申し分なし！ ボリュームたっぷり。
⑪ ダブルバーガー…¥1090　パティ2枚入りのこれぞアメリカンバーガー
⑫ GARDENバーガー…¥1250　ベーコン・アボガド・エッグ・チェダーチーズをサンド。GARDEN自慢のスーパーバーガー!

《プレートランチ》玄米ご飯orパン・スープ・ドリンク付き
◆グリルチキン…¥1080　◆グリルサーモン…¥1130
◆ローストビーフ…¥1130　◆アサイーヨーグルト…¥1080

《丼ランチ》スープ・ドリンク付き
◆ローストビーフ丼…¥1200　オリジナルのオニオンソースとシーザーソースで
◆ポキ丼…¥1000　ハワイアン丼　気まぐれで新鮮な魚を!

【土日祝限定ランチブッフェ】11:00～15:00
◆レギュラーセット…¥1380　ハンバーガー1個
　カウンターのお料理・デザートとドリンク
◆スペシャルセット…¥1680　ハンバーガー2個
　カウンターのお料理・デザートとドリンク
　4歳～小学生…¥840　3歳以下無料
■お一人様60分の食べ放題になります。
■カウンターのフード・ドリンクの食べ放題に加え、本日のハンバーガーお一人様につき1個または2個（4歳～小学生は1個）のセットになります。

【パーティメニュー】120分飲み放題付
◆カジュアルコースお一人様…3500円（平日のみ3000円）
◆ベーシックコースお一人様…4000円
◆プレミアムコースお一人様…4500円
※別料金にてバースデープレートなども承ります。
　大型プロジェクター完備　　～価格は全て税込みです。～

ローストビーフプレート

ポキ丼

全部のせパンケーキ

【1月のマンスリーバーガー】

トリュフバーガー　¥1780
トリュフ香る大人の
ゴージャスバーガー

【 さわやかメール 】
★クーポン★
ハンバーガー ご注文の方に
トッピング1つサービス致します。
（パティは除く）
◆エッグ・オニオン・パイナップル
チェダーチーズ・アボガド・チリ
ビーンズから1品お選びください。
テイクアウトの場合も可。
期間　2019年2月10日まで

キリトリ線

インフォメーション

前回は毎日新聞掲載の記事をご案内しましたが、クリスマス直前 12/22(土)の 朝日新聞夕刊でも、落合在住『岩佐めぐみさん』作『ぼくはアフリカにすむキリンといいます』(偕成社)が、日本人で初めて、権威ある『ドイツ児童文学賞』を受賞したニュースが紹介されました。朝日新聞デジタルでも読めますが、読み応えのある内容ですので夕刊紙面を全文ノーカットでご覧ください。

BOOKのご紹介

① 『創刊140周年記念平成号外集』
50名様にプレプレゼントいたします。

ご希望の方は裏面の応募用紙または
HPからお申し込みください。
所長より特別プレゼント
応募 ★NO. 1

週刊朝日増刊
② 『サザエさんと長谷川町子2019』
大人気

定価420円（税込）
購入を希望される場合は
メッセージ欄でお知らせ下さい。

ひとりぼっちのキリン　ペンギンと手紙交わす物語

17年前の児童書 移民と暮らす支え

17年前、無名の日本人作家が出した児童書が、世界でじわじわと評価を集めている。8カ国・地域で翻訳され、さらに5カ国で出版される予定。10月には、権威があるドイツ児童文学賞を日本の作品で初めて受賞した。移民問題など現代的な課題に重ねて読まれることもあるようだ。

日本作品で初めてドイツ児童文学賞を受賞した本を手にする著者の岩佐めぐみさん＝東京都

翻訳された「ぼくはアフリカにすむキリンといいます」

想像し 伝え 受け入れる── 各言語で出版

この本は「ぼくはアフリカにすむキリンといいます」（偕成社）。主婦だった東京都の岩佐めぐみさん（60）がデビュー作として2001年に出した。

ひとりぼっちのキリンが会ったこともない誰かに「きみのことをおしえて」と手紙を出し、物語は始まる。受け取ったペンギンと手紙で質問しあいながら、互いの姿に想像を膨らませる。ついに対面を果たすが、初めて見た相手の姿は──というストーリーだ。

独では文学賞

ミヒャエル・エンデの名作「モモ」なども受賞したドイツ児童文学賞の審査では「高い文学性を持ち、子どもが実際に経験している世界と結びつく」と評された。ミュンヘン国際児童図書館に長年勤めたガンツェンミュラー・文子さんは「ドイツの学校の先生から『子どもたちはこの本が大好きです』と声をかけられる」と話す。

一方、授賞式に出席したドイツの家族・高齢者・女性・青少年相、フランツィスカ・ギッファイ氏は「私たちの身近にはたくさんの子どもが、よその土地から来た、なじみのない人たちと接している。突然、クラスに知らない子が入ってくる。どう接したらいいのか、お互いに相手をどう受け入れることができるのか。これが本の中の重要なテーマに思える」と述べ、ドイツが直面する移民・難民問題になぞらえて解釈した。

岩佐さんは、各国で様々な読まれ方をしていることに驚いたという。中南米では「識字教育」を奨励する政策の一環で子どもに配られたといい、英国では読書の喜びを育もうとする取り組みの中で活用された。

日本での累計発行は約4万部。海外では03年の韓国を皮切りに、台湾、メキシコ、中国、ブラジル、ニュージーランドなどで翻訳された。今後、ベトナムやロシアなどでも出版される予定だ。

海外のブックフェアで売り込みを続けた日本著作権輸出センターの吉田ゆりかさんは「『おもしろいから』と言い続け、本気になって読んでもらえるまで10年かかった」と笑う。ただ、いったん主要言語で翻訳されると、一気に動き出した。

「とにかく不思議な本。難しいことは言ってないけれど、言葉を使って想像し、相手に伝えようとすることで人はつながるという、すごく本質的で大切なことを伝えている」と話す。

「希望はあるよ」

岩佐さんは、いじめや仲間外れにあっている子に「これで終わりじゃない。希望はあるよ、という思いが根底にある」という。当時、移民など社会的問題は想定していなかったが、「想像以上のことを皆さんが読み取って下さり、本は時代と一緒に生きているんだと感じます」。（中村靖三郎）

あけましておめでとうございます。
静かに幕を開けた2019年ですが、平成30年とのお付合いもあと4ヶ月あまり、いささか身の引き締まる思いがします。また、4/27からの10連休の動きが社会にどんな影響を与えるのか…、そちらも気になるところです。
新元号になって秋を迎えると、『ラグビーワールドカップ2019』が開催されます。公式サイトの〝4年に一度じゃない。一生に一度だ。〟のキャッチコピー、なかなかカッコイイですね！🏉😊
日本チームの健闘に期待します。
『岩佐めぐみ』さんの記事、いかがでしたでしょうか？ 今後もメディアでの紹介がどんどん拡大されていくことが予想されます。今年発売の新作も今から楽しみです。地域の話題としても全面的にバックアップしていきたいと思います。
本年もよろしくお願いいたします。
所長